



教授

大矢 勝

オオヤ マサル



大学院環境情報研究院 人工環境と情報部門
大学院環境情報学府 環境リスクマネジメント専攻 生命環境マネジメントコース
理工学部 化学・生命系学科 化学応用教育プログラム
moya@ynu.ac.jp
<http://www.detergent.jp>

複合領域
生活科学

家政・生活学一般

洗浄試験
洗浄技術
洗剤
界面活性剤
水生生物毒性

【研究概要】

衣類の洗濯、食器洗い(手洗い+食洗機)、住居の掃除などの生活面から金属加工現場、建造物外壁、道路等の洗浄に至るまで、幅広い洗浄の分野での洗浄試験法の開発と、新たな技術開発のための援助を行っています。また、洗剤・洗浄剤の環境影響についても研究しています。

【アドバンテージ】

洗浄は範囲が広い。それぞれの分野の洗浄の専門家はいますが、生活面から産業面まで含めて幅広い洗浄の分野をカバーする研究者であり、企業の技術者向けに各種洗浄に関するセミナーの講師も多数担当してきた経験を有します。日本では他にほとんど見られない洗浄分野のエキスパートです。ある分野の洗浄に他の分野の洗浄技術を転用する等の工夫を得意とします。

【事例紹介】

吸水性セラミックの洗浄、金属加工工程用の洗浄剤、新型石けんの洗浄性能、業務用食器洗浄機用洗浄剤、家庭用食器洗い乾燥機、新型シャワーヘッド、建造物洗浄用ロボット、非界面活性剤系洗浄剤、有機酸型洗浄剤、車両洗浄の効果評価などの試験・研究を実施してきました。

■ 相談に応じられるテーマ

洗剤・洗浄技術の評価
洗剤・洗浄剤の環境影響評価
汚れと洗剤の化学分析
洗浄技術の改善
新たな洗浄技術の改善

■ 主な所属学会

日本繊維製品消費科学会
日本油化学会
日本家政学会

■ 主な論文

『界面活性剤/高級アルコール/水系の希薄エマルションによる油性汚れの洗浄性』『繊維製品消費科学, 58(8)』2017
『マイクロバブル洗浄への界面活性剤の添加効果』『繊維製品消費科学, 57(11)』2016
『マイクロバブルシャワーによる皮膚表面に吸着した界面活性剤の

除去性』『日本家政学会誌, 67(9)』2016

『Comparison Test of Oily Soil Removal of Japanese Laundry Detergents Using a Regression Formula to Derive Soil Quantity from K/S Value of Colored Oil』『Tenside Surfactants Detergents, 52(1)』2015

『Derivation of Quantitative Removal Efficiency of Protein Stain from K/S Value of Washing Test Fabric Soiled with Hemoglobin』『Journal of Oleo Science, 62(4)』2013

■ 主な著書

『よくわかる最新洗浄・洗剤の基本と仕組み』秀和システム 2011
『機能水洗浄技術最前線』エヌ・ティー・エス 2009
『地球にやさしい 石けん・洗剤ものしり事典』ソフトバンク・クリエイティブ 2008
『洗剤・洗浄百科事典』朝倉出版 2003